



平成 27 年 4 月 10 日

各 位

会 社 名 三菱重工業株式会社
代 表 者 取締役社長 宮永 俊一
(コード番号 7011)
上 場 取 引 所 東 名 福 札
問 合 せ 責 任 者 グループ戦略推進室
広 報 部 長 齊 藤 啓 介
(TEL03-6716-3111)

MR J 開発状況および量産準備状況についての発表に関するお知らせ

本日、当社及び当社子会社である三菱航空機株式会社（取締役社長：森本浩通、本社：愛知県西春日井郡）は、「MR J 開発状況および量産準備状況について」を発表いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

2015年4月10日

三菱重工業株式会社
三菱航空機株式会社

MRJ 開発状況および量産準備状況について

三菱重工業と三菱航空機は、次世代リージョナルジェット機 MRJ (Mitsubishi Regional Jet) の開発状況および量産に向けた拠点展開の準備状況について、本日、説明会を開催し以下の通り発表しましたのでお知らせいたします。今後の状況推移については、定期的に情報発信してまいります。

1.新体制での事業運営がスタート

量産段階への移行に向け、両社は4月1日付で新体制を発足させ、さらに一体となった事業推進に取り組んでいます。それに先立つ1月には、三菱航空機が本社の全機能を、MRJの最終組立、地上試験、飛行試験が行われる場所に隣接した県営名古屋空港ターミナルビル(愛知県豊山町)の同一フロアに移転し、効率的な業務運営体制を整えました。

2.開発状況について

現在、静強度試験や飛行試験2号機以降の製造を順調に進めています。各種地上試験による検証結果とそのフィードバックに万全を期し、初飛行の時期については本年9~10月に見直しました。今後は、各種飛行試験を集中的に実施するとともに量産機の製造を加速することで、計画通り2017年第2四半期の初号機納入につなげていきます。また、これと並行して、高水準のカスタマーサポート体制を構築して参ります。

3.量産に向けた拠点展開について

昨年2月に発表した量産に向けての拠点展開を決定し、以下の通り進めております。

また量産機については、三菱重工の工場を最大限に活用して生産します。

- (1) 県営名古屋空港に隣接する県有地(愛知県豊山町)を取得して、最終組立および艀装・塗装を行い完成機に仕上げる新工場を建設中。
- (2) 神戸造船所(神戸市兵庫区)で主翼部品を一貫製造。名古屋航空宇宙システム製作所 飛島工場(愛知県飛島村)に新設する専用ラインで組立。
- (3) 国内パートナーが参加して航空機部品生産共同組合を設立。松阪工場(三重県松阪市)で民間機の量産部品を連携して一貫生産するクラスターの立上げが進行中。
- (4) グループ会社の三菱重工航空エンジン株式会社(本社:愛知県小牧市)でMRJ用エンジンを最終組立。
- (5) 国内の各製造拠点および世界中のサプライヤーとリアルタイムネットワークを構築し、膨大な数の物流を管理する計画。

MRJは三菱航空機が開発する70~90席クラスの次世代民間旅客機で、大幅な燃費性能向上と騒音・排出ガスの削減を実現し、これまでのリージョナルジェット機にはない快適な客室空間を提供します。現在の受注機数は407機(うち確定223機)で、昨年10月にはロールアウト式典を開催しました。

両社は今後も、航空業界発展の一翼を担いつつ、MRJプロジェクトの成功に向けて全力で取り組んでいきます。

以上

■お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 広報グループ 諏訪下・松原

TEL: 03-6716-2168

三菱航空機株式会社 総務・広報グループ 小田・竹森

TEL: 0568-39-2117